



### 特 徴

- 低消費電力で最低限のメンテナンス
- あらゆる気象条件で利用可能
- 放射をより精度よく測定
- ドームのクリーニングの頻度が減少
- 測定の品質が向上
- ドームへの露の付着の防止

### 概 要

放射計を通風することにより、ドームの塵、雨滴及び露の影響を減らし測定データの信頼性と精度が向上します。また、通風により快晴時の日射の熱の影響からドームやボディの温度を安定させることができ、輻射熱の影響が抑えられます。

ファンモータの吸気側にフィルタが付属し、放射計のドームに汚れの少ない空気を流します。必要に応じ、内蔵されたヒータで加温された空気を流すこともできます。

ドーム部で効率よく空気が流れる筐体の設計となっています。ヒータとカバーの材質を改善し、従来の通風ファンより少ない加温で霜や雪を溶かせます。

ファンは塵の汚れや雨を付きにくくし、放射計の温度を安定させるために連続的に動作します。ファンの回転は1回転で2パルスの信号出力があり、タコ出力を監視することによりファンの動作が確認できます。

防水コネクタと黄色い耐候性のあるケーブルで接続します。ケーブル長は、10m及び25mが選択できます。コネクタのみの供給も可能です。

### 用 途

あらゆる気象条件で動作し、扱いやすい構造です。通風ファンのメンテナンスはフィルタを定期的に点検し、必要に応じ清掃または交換します。

通風ファンは、放射計のドームの汚れを完全に防ぐことはできませんがクリーニングの回数を減らすことができます。主な用途は、霜や雪の影響を受ける場所、無人での観測です。

世界気象機関のBSRN (Baseline Surface Radiation Network) などの最高水準の太陽光の観測では、通風ファンを使用することを強くお勧めします。

## 構造

キップ&ゾーンの放射計に利用できます。CMP-3及びSMP-3は、ドーム周辺の開口部が大きくなるので通風の効率が低くなります。

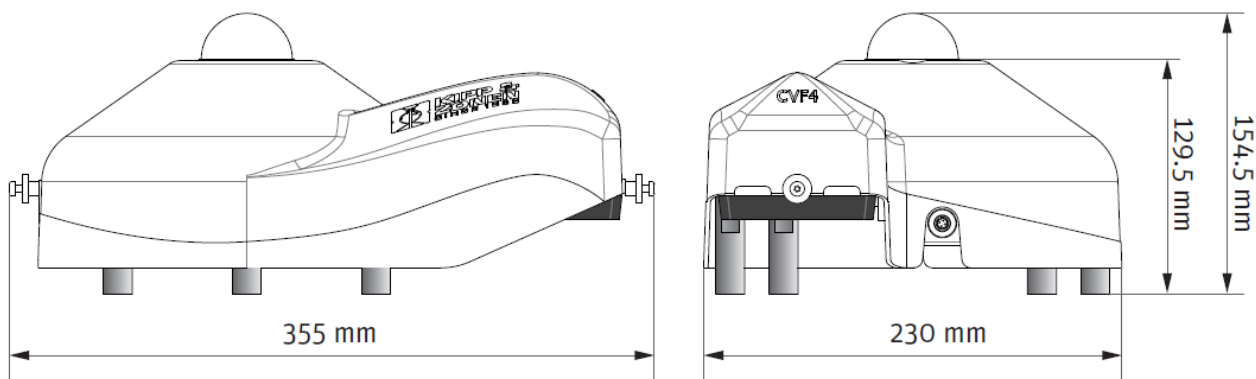
放射計の水準器は、カバーを取り外すことなく確認できます。乾燥剤の確認はカバーを外し行います。カバーは簡単に外すことができる構造となっています。

太陽追尾装置及びシャドウリングに取付可能です。ファンモータとヒータは、12VDCで動作します。ACからDCに変換する電源も別途ご用意できます。

## 仕様

ヒータ電圧	DC12±1V
ヒータ電流	460mA(7Wバージョン)
ヒータ出力	5.5W
ファン電圧	DC12±1V
ファン電流	520mA±20%
ファン電力	6.3W
タコ出力	5Vおよび475Hz±25%
寸法	210 x 178 x 126 mm
梱包重量	2kg
開梱時重量	2kg
保護等級	IP68
Kipp&Zonen社のケーブル使用時の最大ケーブル長	25m
使用温度範囲	-40~+70°C
通風ファンによる温度の上昇	< 0.25K@0Watt (通風のみ) < 1K@6.8Wヒータ
規格	ISO/TR 9901、BSRN操作マニュアルに準拠
ゼロオフセットAの低減	CMPの場合50%低減
ケーブル抵抗	0.16Ω/m (2 x 0.08Ω/m)
ヒータ最大時の電圧降下	0.08V/m
CVF4に適合する測器	CMP6, CMP10, CMP11, CMP21, CMP22 SMP6, SMP10, SMP11, SMP21, SMP22 CMP3, SMP3 および CGR3 ISO/TR9901, BSRNマニュアル

## 外観



重量：1.6 kg (ケーブル含まず)